

## 会議の経過

諸星課長	<p><b>開会</b></p> <p>皆様、おはようございます。定刻となりましたので、只今から令和6年度大井町総合教育会議を開催いたします。私は、本日、司会を務めさせていただきます総務課長の諸星と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、本日の会議につきましては、会議録作成のため録音させていただきますことをご了承ください。</p> <p>それでは早速、次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>「次第1 町長あいさつ」 小田町長よろしくお願いいたします。</p>
小田町長	<p><b>1 町長あいさつ</b></p> <p>改めましておはようございます。日頃より、町の教育行政にご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本日は、ご多用の中、大井町総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本年度開催の総合教育会議ですが、教育行政の推進を図るためには、教育委員の皆さまと意思疎通を図り、地域の教育の課題や、あるべき姿を共有することが必要と考えております。</p> <p>本日は、「第3期大井町子ども・子育て支援事業計画の策定について」と、「地域から“おおい”に学ぶ環境づくりのために」の2つの項目について協議いたします。</p> <p>現在策定中の第3期大井町子ども・子育て支援事業計画につきましては、本年に入ってからパブリックコメントを実施したところであり、町民のみなさまから様々なご意見をいただき、その結果を反映させるなど、計画の策定も、いよいよ大詰めを迎えているところでございます。本町の子どもを取り巻く環境の現状や課題をみなさまと共有させていただき、ご意見を頂戴したく、協議事項として挙げさせていただきました。</p> <p>また、2つめの協議事項につきましては、地域人材の活用について、学びおおいサポーター制度や、きらめき未来塾の活動内容、社会教育委員会議の取り組みなどに触れ、コロナ禍で活動が停滞してしまった地域コミュニティや地域のつながりのあり方について協議をしたいと思います。限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見をお聞かせくださるようお願いいたしまして、私からのあいさつといたします。本日は、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
諸星課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>さて、本日の出席者につきましては、お手元に配布させていただいた次第の裏面でございます「出席者名簿」のとおりとなっております。</p> <p>なお、教育委員の高橋美恵子様につきましては、体調に不安があるということで欠席されております。</p> <p>それでは、「次第2 協議・調整事項」に移ります。大井町総合教</p>

	<p>育会議運営要綱第2条第1項の規定により、議長は町長となりますので、これからの進行は小田町長にお願いいたします。</p>
小田町長	<p>はい。それでは、私が議長を務めさせていただきますが、会議の性格上、私からも意見を述べさせていただくことがあろうかと思っておりますので、予めご了承ください。</p>
	<p>それでは、(1)「第3期大井町子ども・子育て支援事業計画の策定について」を協議したいと思っております。先程ご挨拶で申し上げましたとおり、本町では、パブリックコメントを受け、現在第3期計画の最終版を策定しているところです。本町の子どもを取り巻く環境の現状と課題を共有しながら協議させていただきたいと思っております。</p> <p>まずは、説明者から要点に触れて説明をお願いします。</p>
高野澤副課長	<p><b>2 協議・調整事項</b>  <b>(1) 第3期大井町子ども・子育て支援事業計画の策定について</b>  (※パワーポイント資料による計画概要・アンケート結果等の説明)</p>
小田町長	<p>それでは、ただいまの説明を受けまして、さらに詳しく聞きたいことや質問などがありましたらご発言いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。</p>
中條委員	<p>アンケート結果の中で、子どもの育ちをめぐる環境についてですが、親族に面倒をみてもらえるような家庭が減ってきているということや、緊急時に誰にも頼れない家庭が増加していることが非常に気になりました。やはり、保護者を孤立させてはいけないというふうに感じています。こうした方々が利用できるような、家庭に対するケアに関する仕組みづくりを何とかして作っていただきたいと思っております。</p> <p>それから、例えば子育てにおける健康面での支援も当然あると思いますが、保護者は経済的な支援の拡充を一番望んでいるということがわかりました。そういう意味では、今年度からの給食費の半額補助などは、保護者にとって非常にありがたい施策だなというふうに感じました。</p> <p>また、現在インフルエンザが非常に猛威を振るっていますが、子どもに対するインフルエンザ予防接種の補助はないと記憶しています。予防接種も一回7,000円近くの費用がかかりますので、子どもの数が多いほど高額の出費となり、予防接種を受けるのを控えるご家庭もいるかと思っております。経済的支援を望まれている家庭が多いことから、予防接種への補助などの支援があれば非常に助かるのではないかという感想を持ちました。</p>
小池課長	<p>子どものインフルエンザ予防接種に対しては今のところ補助を導入していませんが、予防接種による二次被害なども考えられますので、慎重に判断しなければならないと思っています。国からの推奨など、ある程度の状況が整った時には導入について検討していきたいと思っております。</p>

夏苺教育長	このアンケート結果については全て単純集計となっていますが、クロス集計の結果もありますか。
高野澤副課長	計画書の中には落とし込めていませんが、実際にはクロス集計もしています。アンケートの報告書については、クロス集計も含めた報告書が出来上がっています。
夏苺教育長	<p>例えば、先ほどの話の中で経済的支援というのがありましたが、両親共に働く世帯が増えている中で、経済的支援の拡充という、単にその言葉だけを見るのではなく、どこにポイントを置くのが大事なのかを考える必要があると思います。</p> <p>また、子どもの自己肯定感が低いというのは、全国の学力学習状況調査においても同様の傾向がある中で、教育委員会として、この生活指導を踏まえて取り組んでいかなければならないことがあるのではないかと感じました。そういう意味では、この子ども・子育て支援事業計画をまとめていただく中で、教育委員会として考えていかなければいけないところは課題として捉えていきたいと思います。</p>
小田町長	複合的に世の中絡み合ってる中で、一面だけを捉えてただ単に補助すればいいとは言えないわけですが、本当に補助を必要としている人もいますので、それを一律に何かやろうとするのは難しいとも感じます。状況をみながら町として出来ることをやっていくしかないだろうと思います。
太田委員	やはり親御さんや地域の方もそうですが、安全安心といったところはとても気にされていると思います。また、町に充実を図ってほしい支援という項目で一番多かったのが「手当の増額など、子育てのための経済的支援の拡充」で47%となっていました。このアンケート結果を十分加味していただいて、経済的負担軽減を図っていただければと思います。
小嶋委員	<p>子どもの育ちをめぐる環境について、子どもを預けられる人がいずれもないという項目が気になりました。女性の就労状況は出産育児期にあたる年代で増加が見られ、今後もおそらく増加していく状況と思いますが、ファミリーサポートセンターの利用状況はどうなっていますか。支援していただける会員さんの人手は足りていますか。</p> <p>また、放課後児童クラブの待機児童が14名と記載がありますが、成果指標の中で、令和11年はゼロにしたいという目標が記されています。具体的にどのような形で待機児童を減らしていくのか、現時点での対策を教えてください。</p>
夏苺教育長	関連でよろしいですか。一つ目の、子どもを預けられる人の関係で、就学前の保護者と小学生の保護者をみると「いずれもない」が、15.8%、9.7%と両者に違いがあります。小学生の保護者になると割合的には少なくなると単純に捉えていか分かりませんが、保護者同士の接点が増えてきたから、知人などをお願いできるのかなという

小池 課長	<p>推測もできます。その辺をどう分析するかというのが興味深いところですが、このことについてはどう分析をしていますか。</p> <p>ファミリーサポートセンターの利用状況につきましては、コロナ禍で利用状況が極端に下がった時期もありましたが、昨年度ぐらいから徐々に利用状況は戻りつつあります。</p> <p>また、支援会員さんの数ですが、より多くの方にご協力いただきたいとは思いますが、会員数は微増に留まっているという状況です。ただ、申し込みされた方については、お断りするというケースもありませんので、現状の支援会員の方々でうまく運営できてるのではないかと考えています。</p> <p>児童コミュニティクラブの待機児童について、数を捉える時点で14名の待機があったわけですが、地区的には違う児童コミュニティクラブになりますが、臨時的に空いている方に通っていただくなどの対応を実際はしていましたので、申し込みされた方についてはほぼ利用していただいたという状況です。来年度の利用申し込みにつきましても、定員オーバーをしていませんので、利用者の希望に沿った形になると想定していますが、夏休みだけの利用など色々なことが想定されますので、待機児童対策を含めた体制の確保については常に考えていきたいと思えます。</p>
高野澤副課長	<p>教育長からのご質問で、子どもを預けられる人の割合の項目についての分析はということですが、パブリックコメントのご意見等もいただいている中でもありますので、そこも含めて、関連の分析について委託業者とともに進めていきたいと思えます。</p>
中 條 委 員	<p>育児休業の取得状況を見ると、父親の意識が高まってきていると感じますが、子育てというところはまだ母親任せのところがあると思えます。今後は、もっと父親への啓発をしていく必要があると思うと同時に、子どもの居場所について、地域や自治会においても、子どもを巻き込んだ事業をたくさんやっていますので、町だけではなくてぜひ地域や自治会にも頼っていただいて、連携しながら子どもたちを育てていけたらいいなと思えます。</p>
小 田 町 長	<p>そうですね。地域には自治会やふくしの会などもあります。地域で子どもを育てていくことは大変良いことだと思います。</p> <p>その他にはご意見等いかがですか。</p>
太 田 委 員	<p>子どもが熱を出したなどの理由から仕事中に呼び出しがかかることがあると思えますが、働く親にとってはこうした状況が一番困りますよね。このような時に何か支援をしていただけたところがあるといいなと思いました。</p>
小池 課長	<p>病気などで体調が悪いお子さんを預かってもらえる制度については、病児保育という事業があります。こちらは大井町単独ではなく、広域で体制を整えています。</p>

小田町長	<p>それでは、色々ご意見をいただきましたので、この件についての協議はこのあたりで終了とさせていただきます、2番目の「地域から“おおい”に学ぶ環境づくりのために」について協議したいと思います。</p> <p>本町には学びおおいサポーター制度をはじめ、地域の人材を活用する制度や組織がありますが、教育の場においては、こういった地域の繋がりを通じてできることがまだまだあるだろうと感じるところであります。</p> <p>本日はこうした観点から協議をさせていただきたいと思います。まずは説明書から要点について説明をお願いします。</p>
荻野社会教育主事	<p><b>(2) 地域から“おおい”に学ぶ環境づくりのために</b> (※パワーポイント資料による制度説明及び取り組み状況の紹介)</p>
小田町長	<p>それでは、ただいまの説明を受けまして、さらに詳しく聞きたいことや質問などがありましたらご発言いただきたいと思いますのですが、いかがでしょうか。</p>
中條委員	<p>課題のご説明で、半数近くの方の活躍の場が提供できていないということでした。1回も活用されてない登録者の方もいるということですが、どのような分野の方が多いのか、また、活用できない理由はニーズがないのか、人数の問題、場所の問題など分かる範囲で教えてください。</p>
荻野社会教育主事	<p>子どもを対象に動いていることが多いため、子どもを対象としたサポーターの方には活躍の場を提供しやすいことが理由の一つです。大人に向けた活動もありますが、集客の問題などから活動の場所を作るところがあまり進んでいないのが現状です。今回いくつかありましたが、サポーターの方から直接声を頂いて活動がスタートする場合はやりやすい部分もありますが、なかなか難しいなと感じています。</p>
有馬課長	<p>補足ですが、サポーター登録制度が結局登録だけで終わってしまうところに問題があると考えています。登録していただいた方には、自ら取り組んでいくという意識を持っていただいて、その上で事業が進んでいくということも考えていますので、そうした形のヒアリングなどをしながら、意欲的な気持ちをもってやっていただく取り組みが必要と感じています。</p>
太田委員	<p>先週の金曜日に参加させていただいた大井小学校の昔遊びについては、今日ご説明の団体や活動に関係がありますか。</p>
荻野社会教育主事	<p>今回の説明は社会教育委員の方で取り組んだきらめき未来塾と学びおおいサポーターの活動となります。太田委員さんが参加されたのは、学校の地域学校協働活動になります。こちら地域の方に多く参加していただきましたが、こうした取り組みは色々あります。</p>
太田委員	<p>上大井小学校と相和小学校でも似たようなことをやっていますか。</p>

荻野社会教育主事	<p>現在、各学校に地域学校協働活動推進員さんがおり、委員さんを中心に昔遊びなどが行われています。また、新たな活動を実践する場や支援してくださる方を探す、来てもらうなどの活動をしています。このような活動は上大井小学校や相和小学校でも続いています。</p>
小田町長	<p>このような活動がもっと地域に広がるといいと思いますが、町民に紹介したりするような取り組みも必要ではないかと感じます。</p>
有馬課長	<p>例えば、ふくしの会などからは出前講座の依頼があったりしますが、地域との繋がりといった意味では、こうしたことが少しずつですが増えてきていると思います。他の例では、上大井自治会は夏の時期になるとラジオ体操の出前講座を通じた取り組みを行っており、地域連携の輪が毎年広がっているといった状況があります。</p>
夏苺教育長	<p>活躍の場を広げていくにあたっての課題もあるという話がありましたが、これまでの取り組みをそのまま続けるのではなくて、例えば活動する学年を絞ったりするなど色々なやり方があると思います。工夫をしながら、これから各児童コミュニティクラブなどにも活躍の場を広げていってもらいたいと思います。</p>
小田町長	<p>色々と課題やご意見も出ましたが、地域の力を借りながら助け合いの精神でやっていく必要があると思います。様々なことに着目した中で、これからの取り組みにあたっての仕組みづくりなどにもご協力いただければ幸いです。</p> <p>その他にご意見はよろしいですか。</p> <p>(※意見等なし)</p> <p>それでは、この件についての協議はこれで終了とさせていただきます。</p>
小田町長	<p><b>(3) その他</b></p> <p>(3)「その他」ですが、教育委員の皆様から、何かこの場で協議の必要がある案件がございましたらご発言を願いたいのですが、いかがでしょうか。</p> <p>(※意見等なし)</p> <p>協議すべき事項も特にないようですので、これで議長の任を解かせていただきたいと思います。貴重なご意見をお聞かせいただき、誠にありがとうございました。それでは、司会に進行を戻します。</p>
諸星課長	<p><b>閉会</b></p> <p>長時間にわたるご協議、大変お疲れ様でした。さて、今年度の総合</p>

教育会議は以上となります。来年度につきましても、期日等が具体的になりましたら、お知らせいたしますので、その際にご出席についてご配慮賜りますようお願い申し上げます。

それでは、これをもちまして、令和6年度大井町総合教育会議を閉会いたします。ありがとうございました。

以 上